

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 共同生活援助
事業所名 上田明照会グループホーム

第三者評価の判断基準

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着眼点
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	<p>a)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会(利用者同士が話し合う機会)を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。

○利用者一人ひとりの自律・自立生活や社会参加を実現するための、利用者の自己決定や自己選択を尊重するエンパワメントの考え方が生活支援の基本として明文化され、個別支援計画書にも反映されていることを計画書等で確認できました。
 ○利用者個々の主体的活動の促進支援として、一人ひとりの衣類の趣味や整容身だしなみ、新聞や雑誌の購読、ラジオ・テレビ視聴、嗜好品等の思いや希望を尊重し、個別支援に反映させる取り組みがあることを個別支援計画で伺うことができました。
 ○組織として、障がい者権利条約についての研修会が開催され、合理的配慮についての職員の周知共有に努めていました。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼	点
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>○利用者の権利擁護については、上記の自律・自立生活や社会参加を実現する支援体制と同様に、虐待等の権利侵害の防止や権利侵害が発生した場合の迅速かつ適切な対応マニュアルが整備され、定期的な研修会や施設内の掲示等で全職員、利用者の周知共有の徹底に努めていました。また、利用者の尊重と権利擁護は、福祉事業所の使命として、法人組織の基本理念や方針からも読み取ることができます。</p> <p>○特に虐待防止については、法人組織の研修や施設内研修を定期的に行い、過去の事例や他施設の事例を研修検証して、また、外部研修にも積極的に出席し、伝達研修で全職員の周知共有を図っていることを研修記録等で確認しました。</p>
2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>○生活支援は、個別支援計画にもとづき、利用者一人ひとりの心身の状況、ライフスタイルや生活習慣、希望する生活等を把握理解し、利用者個々がその人らしい生活を営むことができることを基本にすることを明示し、その方針が実現できるための目標や方法等が職員間で周知共有する仕組みがあり、また、利用者個々の自己管理については、身だしなみ、清潔、時間やスケジュール管理、金銭管理等の支援を確認しました。</p>
		② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>○特に意思表示や伝達が苦手で困難な利用者に対しては、利用者一人ひとりの固有のコミュニケーション方法を個別支援計画等で全職員で共有し、日常的な関わりを通して、担当職員と相談支援専門員等関係専門職の連携により、利用者の意向や希望の適切な理解のための定期的な支援会議を図っていることを会議録で確認しました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼	点
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	○利用者の相談支援は、個別支援計画のモニタリングシステムで半年に1回個別面談を実施し、利用者一人ひとりの意向を把握し、個別支援計画の評価・見直しを行う仕組みがあり、また、利用者が相談できるスペースは、新田ホーム2階に相談室を設け、同法人の相談支援事業所の相談支援専門員とサービス管理責任者や担当職員との定期的な連絡会議の中で支援全体の調整を図る仕組みもありました。
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	○個別支援計画は、アセスメントにもとづき、日中活動についても利用者一人ひとりのニーズや希望が反映されていることを計画書で確認できました。 ○余暇活動は、利用者一人ひとりの多様なニーズに対応するため、様々な活動メニューを工夫し、利用者自身が主体的に選択できるように情報等を提供し、特に地域の社会資源やイベント情報等、また、文化的な生活、レクリエーション、スポーツ、趣味等の余暇活動についての情報提供を利用者の状況に応じて、支援していることをアセスメント記録等で確認しました。
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がい個別的かつ適切な対応を行っている。 ■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	○定期的に支援会議を開催し、支援方法の検討や見直し、環境改善等を実践していることを会議録や個別支援計画書の評価・見直し記録で確認しました。 ○法人組織の研修体系で、障がいに関する専門的研修計画もあり、職員のスキルアップ研修として定着しています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼	点
		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>○利用者一人ひとりの、食事、入浴、排せつ、移動、移乗等の日常生活支援は、個別支援計画に適切詳細に反映され、計画に基づいて、利用者の日々の心身の状況にも配慮されて、適切に支援実践されていることを計画書、記録等で確認できました。</p> <p>○食事は、嗜好調査により、献立表が作成され、食堂の雰囲気作りやテーブル・席の配置の工夫がされ、入浴は、利用者個々の意向や健康状態、生活状況に応じた柔軟な対応もあり、また、排せつ支援は、トイレ利用を基本にする等の自立支援と羞恥心を大切にす適切な取り組みもあることをマニュアルで確認しました。</p>
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。 ■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>○各グループホームの居室や食堂、トイレ等は、清潔に保たれ、適温と明るい雰囲気がありました。</p> <p>○利用者調査結果では、ほとんどの利用者が生活の場に「満足している」とのコメントがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	目 点	点
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>○機能訓練・生活訓練については、法人の専門職の指導・助言により、専門職との連携・協力のもとに利用者一人ひとりのプログラムやメニューが作成され、適切に実施されていることを個別支援計画で確認できました。</p> <p>○個別支援計画には、生活訓練や機能訓練計画が連動させていて、実施方法や留意点を関係職員で共有し、日常の生活動作や日中活動の場で実施され、利用者一人ひとりの機能や能力の維持・向上に努めています。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○利用者の健康管理については、マニュアルが整備され、法人の協力医療機関や看護師との連携により、適切に実施されていることを計画や記録で確認しました。また、利用者のほとんどが同法人の日中活動を利用していることもあり、看護師による定期的なバイタルチェックを実施し、利用者の健康管理に努めました。</p> <p>○グループホームの世話人は、日常の食事の様子や入浴、排せつ等をチェックし、異変があった場合は、法人の看護師に連絡報告し、迅速に対応する仕組みがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼	点
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。 ■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 ■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 □ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○喀痰吸引や経管栄養等の医療的ケアの対象利用者が現在はいらっしゃらないとのことですが、医療的支援体制は、利用者の生命・身体への影響が重大であるといわれています。医師や看護師等の指導・助言のもと、安全管理体制を構築することが求められています。グループホームの安全確保のための体制整備と医療的支援に関する定期的な職員研修や職員の個別指導を実施し、医療的支援を実施する職員の不安等を把握し、実施体制の見直し等を継続的に行うことを期待します。</p>
	(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>○各グループホーム利用者は、地域社会の一員として、地元自治会に加入し、自立した生活と地域社会への包容を積極的に取り組んでいます。</p> <p>○現在はコロナ禍で制限はしていますが、利用者の外出や外泊、友人との交流にも柔軟な対応支援をしていることを管理者インタビューで伺いました。</p> <p>○利用者・家族の意向により、社会参加に向けた情報の提供等も適切に実施していました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 □ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 □ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	○利用者の高齢化や重度化により、地域生活への移行や家庭復帰等も困難になっているとのことですが、施設・事業所は、利用者の生活や住まいへの希望と意向を尊重し実現させる取り組みを求められています。地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を設け、利用者のニーズを把握して、ニーズに応じた取り組みや工夫を行う仕組みの整備を期待します。
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	○利用者の家族や保護者への生活状況等の報告や連絡については、利用者の意向を確認し、配慮した上で「便り」や家族会等で定期的に報告し話し合う機会を設ける仕組みがありました。 ○特に利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡については、緊急時対応マニュアルが整備され、適切に実施されていることを記録で確認しました。 ○家族等からの要望や相談については、サービス管理責任者と管理者が窓口になり、適切に対応する仕組みがありました。
3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。			<ul style="list-style-type: none"> □ 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。 □ 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。 □ 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 □ 83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。 	対象外

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	<input type="checkbox"/> 84 <input type="checkbox"/> 85 <input type="checkbox"/> 86 <input type="checkbox"/> 87 <input type="checkbox"/> 88 <input type="checkbox"/> 89	利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	対象外
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	<input type="checkbox"/> 90 <input type="checkbox"/> 91 <input type="checkbox"/> 92 <input type="checkbox"/> 93 <input type="checkbox"/> 94 <input type="checkbox"/> 95	利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	対象外
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	<input type="checkbox"/> 96 <input type="checkbox"/> 97 <input type="checkbox"/> 98 <input type="checkbox"/> 99 <input type="checkbox"/> 100 <input type="checkbox"/> 101	職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 就労後の利用者職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	対象外